

上海府地区区長会要望事項（回答）

1 離岸堤嵩上げ工事の早期着工について

近年、8mを超える高波が毎年のように押し寄せ、国道、人家、農作物に甚大な被害を及ぼしています。特に、平成24年4月3日に発生した異常に発達した低気圧による被害は絶大でした。

今後もこのような事態が起これ、毎年のように被害が出るのが予想されることから、次のことについて特に要望します。

(1) 離岸堤の嵩上げ工事

平成27年は大月集落沖、平成29年は間島沖の離岸堤嵩上げ工事をしていただきました。

しかし、各集落沖の離岸堤の嵩上げ工事は、早急を実施していく必要がある喫緊の課題であると思います。

早期の嵩上げ工事をお願いします。

【回答】

高波の安全対策につきましては、本市海岸部に位置する集落共通の課題であると認識しており、離岸堤の嵩上げをはじめとする各種対策につきましては、県に対して早期事業化の要望を行っているところであります。

現在、上海府地区におきましては、柏尾海岸にて離岸堤の新設工事を実施していただいております。

市としましては、今後も引き続き、県に対し早期の事業実施とともに、国に対しては、海岸事業に対する予算の確保を強く要望してまいります。

（問い合わせ先：建設課）

2 災害時の避難場所及び避難通路の確保・改修について

近年、新潟県のみならず、日本全土に異常気象等による災害が発生しています。当上海府地区は、前を海後ろを山に挟まれ、地震やがけ崩れ、津波等の自然災害が発生した場合の危険個所と集落が一緒になっており、危険と隣り合わせの状態です。そこで、特に次のことを要望します。

(1) 間島駅前、野潟など、災害時に緊急に避難する場所もままならない集落もあります。

そこで全集落の安全な避難場所の再指定と確保、及び避難通路の整備を要望します。

【回答】

避難場所の再指定と確保につきましては、一昨年、各集落に説明に伺い、本市として「指定避難所」と「指定緊急避難場所」の見直しを行いました。

避難路の確保と整備、指定緊急避難場所の課題につきましては、今後、各集落と逃げ地図作りを実施させていただく中で検証させていただきたいと考えています。

(問い合わせ先：総務課)

- (2) 上海府地区全体としての避難所（旧上海府小学校体育館）の整備現状は、避難所としての役目を果たしていないので、最低限のもの（トイレ、スロープ等）は、用意して欲しい。

【回答】

現在、上海府体育館（旧上海府小学校体育館）の男性用トイレには個室が1室、女性用トイレには2室あり、それぞれ洋式トイレが1室ずつ設置されています。ご要望の内容について詳細を確認させていただいたところ、和式トイレの洋式化と個室スペースの拡張をしていただきたいとのことでしたが、市としては必要最低限の設備は整えていると考えておりますので、追加で改修を行う予定はありません。ご不便をおかけいたしますがご了承願います。

スロープについては、車いすでも利用可能なスロープを順次配置する方向で進めております。配置までの間は共助によりご対応をお願いします。

(問い合わせ先：総務課)

3 危険箇所の改修について

- (1) 馬下地内の防火水槽地上露出部の老朽水漏れ対策について集落内の防火水槽は、セメントの老朽・風化が見られ、雨等による水の浸入及び水位上昇による漏水が見られ、付近は危険な常態となっています。

槽内の点検を含め、対策をお願い致します。

【回答】

現地確認を行ったところ、側面のモルタルの剥がれ、鉄蓋の腐食が見受けられました。現状、水槽としては問題なく利用できるようですが、鉄蓋の腐食が進んでいるため、令和2年度中に新しいものに交換します。

(問い合わせ先：消防本部)

- (2) 国道345号線の改良工事について

岩ヶ崎地内の市道滝の前岩ヶ崎線と国道345号線の交差点を基点とする

前後 100mの道路で、積雪時の事故防止のため、高視認性区画線の設置をお願いします。

【回答】

ご要望の箇所につきましては、起伏が大きく、カーブが連続している現在の形状は、交通事故につながる可能性が高いため、高視認性区画線の設置など交通安全対策の実施を要望してまいります。

(問い合わせ先：建設課)

4 その他

(1) 岩ヶ崎集落内消防水利の設置について

岩ヶ崎地内 615-1 番地付近には消防水利が無く、火災発生の際の消火作業に支障が考えられます。

また、岩ヶ崎地内 718-1 番地付近にも消防水利が無く、火災発生の際の消火作業に支障が考えられます。

円滑な消火作業ができるように、2箇所消火栓の設置をお願いします。

【回答】

岩ヶ崎地内 615-1 番地付近については水道の本管が通っていないため消火栓の設置はできず、土地が狭隘なため防火水槽の設置も困難な状況です。集落センター付近に消火栓を設置することで、岩ヶ崎地内 718-1 番地付近と併せカバーできないか検討していきます。

(問い合わせ先：消防本部)

(2) 野潟集落内境川の土砂浚渫について

JR 橋脚下から旧ファミリーレストラン前のカーブまでの間島側 150M は、大雨時には、乗り越えそうになり、平時でも流れと堆積部の差が 1M 位となり、堤防との高さ数十センチメートルとなっております。冬の逆流する海水で何本もの流木が埋まっています除草時にも難儀しています。

【回答】

ご要望の箇所につきましては、今年度、河積に係る堆積土砂の現状を調査することとし、状況に応じては、本市の「管理河川堆積土砂管理計画」の中で浚渫の実施時期について検討したいと考えております。

なお、流木など河川の流下に影響する支障物については、今後も随時撤去してまいりますので、引き続き情報提供等お願いいたします。

(問い合わせ先：建設課)